

扶桑拾葉集序

扶桑拾葉集



や由も飲ん代、はるはる抄事、いふはれくま名
かたはる、こゝに御河、も果る、まの、こゝあゝる、な
日ならぬ、こゝあゝる、撰集の序と何、めは抄の
序、後家、の撰集、はるはる、人、よ、と、撰、ふ、又、よ、い、ま、ふ
す、甲、佐、田、森、を、子、校、の、教、授、を、と、ま、り、た、と、お、く
と、ろ、い、あ、の、免、る、多、れ、は、是、い、ま、る、こ、ん、ら、く、了、氣、海
漁、初、に、光、國、卿、行、能、り、あ、る、と、い、ふ、は、あ、る、ま、ご、外、も
物、り、と、い、は、る、は、ま、と、これ、と、い、ふ、と、く、三、十、卷、ま、た、ら
照、明、曆、の、帝、印、も、如、也、及、し、は、る、は、る、御、河、の、序、

古扶桑拾葉集都合三十卷序

致仕之後困眺、く解漫探、弄筆

書寫之序

享保辛亥、秋八月

高田下町長門守源朝臣好吉

